



かしま友愛

第31号

2016年6月20日

社会福祉法人
加島友愛会事務局
大阪市淀川区加島1-60-36

☎ 06-6101-6601

第2期レインボープランの推進を



法人理事会・評議員会開催

五月二十八日(土)、加島友愛会の二〇一六年度第一回理事会・評議員会が、理事・監事・評議員・施設長・本部事務局などが出席して開催されました。

平田理事長からは「皆さんのご協力のもと、事業は概ね順調に進行している。第二期レインボー計画の中で地域貢献にむけた取り組みを盛り込んでいきたい」との挨拶がありました。

議長に市村評議員を選出し、酒井専務理事が二〇一五年度事業報告(二面)、西岡常務理事が決算報告(別紙)をおこない、熱心に討議され採決されました。



旧加島人権文化センター、旧市営住宅1・2号館、加島老人センターの跡地を確保

▼旧加島人権文化センター



コラム

かしまの光

「今世紀最大級の金融スキャンダル」として「タックスヘイブン」(租税回避地)を利用して資産隠しや税逃れをしてきた個人・企業を告発した「パナマ文書」なるものが明らかにされ大きな話題となっている▼世界には課税が軽減されたり免除される「租税回避地」と言われる国や地域が三十数か所あるといわれるが、今回は「パナマ」だけの資料が明らかにされ、そこに日本の有名大企業や資産家の名前が次々と出てきている▼「法に触れる」ことはないと言われるが、これまで「日本が税金が高すぎるため、大企業減税をし国内へとどめる」としてきたことが、意味の持たない政策だと疑ってしまう▼本来は日本で適性に納税され、社会福祉や教育、国民生活の向上のために、税の再分配がされるのが基本原則。大企業も資産家も私利私欲ではなく日本の将来を考えてもらいたい。



二〇一五年度をふり返って

理事長 平田 純博

二〇一五年は、法人設立二十五周年という節目を迎える年でした。節目の年にあたり、旧加島人權文化センター敷地さらに旧市営住宅一・二号館、加島老人センターの敷地を確保できたことはレインボープラン第二期計画にとって、また加島友愛会の将来にとって大きな礎になると思います。

他方、法人運営に大きな功績を果たしてきた櫻井副理事長が六十七歳という若さで病により亡くなられました。これからの当法人にはなくてはならない人を失い、痛恨の極みの思いです。社会福祉事業については、地域・利用者のご協力と人員不足の中で精励した従業員により、大きな過誤もなく順調に運営できました。

事業実績も、リュミエール加島においては入居稼働率九十％を達成、豊中市での障害者就労

継続支援A型事業ル・プラスが飛躍的な成果をみており、希望の家・アンダンテ加島・加寿苑・障害者センターともに昨年度に比べ実績を伸ばしております。また、法人設立二十五周年記念地域貢献事業として準備してきた地域住民送迎事業も新年度には試行運営が可能となりました。



階層別のキャリアアップ研修会を実施



マレーシアでのセミナーで発表

そのほかにも、障害者職場適応援助者（ジョブコーチ）の養成研修をNPO法人ジョブコーチネットワークと共催して十月に第七回目を実施し、全国から四十八人が参加し大きな成果をみています。

海外交流ではマレーシアで開催されたアジア太平洋地域国際セミナーに職員とLinkのO

B利用者が招待され、Linkの取り組みとOB利用者本人が就職先での仕事内容や今後の目標などを発表しました。

二十一年目となる滋賀県JA東びわこことこの米の産直交流、インドのダリット里親（教育支援）などの活動も展開しました。

従業員の処遇について一定の改善を実施、事業収支の面でも昨年度に比べ前進する結果をみております。

社会福祉レインボープラン十年計画は道半ばですが、二〇一五年度を順調に拡大・発展することができ後半の事業展開に明るみが増してきました。



米交流も20年を超える

新しいポジションで

この春から各施設の新しいポジションで活躍するメンバーを紹介します。
(かしま障害者センターは7面に)



加島希望の家

副施設長

ふじわら さいち
藤原 佐一

私は大学卒業後すぐに加島希望の家に就職し、今年ではや19年を迎えます。現場から施設の運営や外部の施設とのやりとりまで、「希望の家に育てていただいた」と思っています。

副施設長としての話をいただいた時、初めは管理者としての責任の大きさに不安や緊張でいっぱいでしたが、自分一人ではなく支えてくれる上司や部下がいることや、利用者の家族様からも「頑張ってください、応援してますね」との言葉をいただき、心強く感じました。

近年は障害福祉や社会福祉法人をめぐる情勢が目まぐるしく変化してきています。今後一層情報収集や制度の勉強をがんばり、支えになってくれた方に安心してもらえるように励みたいと思います。

これからもサービスの向上と共に、利用者の方が生きいきと生活・活動できる場、地域に根付いた施設をめざし運営していきます。



加寿苑

副主任

はだ こうへい
羽田 皓平

加寿苑で働き始めて7年目となり、4月から特養の副主任になりました。

副主任になり、任される仕事が増え、大変な日々を送っていますが、利用者の方から「ありがとう」や「兄ちゃんがおってくれて良かったわぁ」など感謝の言葉をかけられると、この仕事をやっていて良かったと思います。

時には職員同士の考えや意見が合わず、気が滅入ることもあります。最終的には「利用者のために」と一生懸命になれる職員ばかりなので、より良いケアを行い、利用者の方の笑顔が多くみられています。

今、自分が楽しくやりがいを持って働けているのも、周りで助けてくれている先輩・後輩のおかげだと思います。

これからも利用者と職員が笑顔で楽しく過ごせるフロア作りをめざし、日々成長できるようがんばります。



アンダンテ加島

支援部長

すぎもと まさし
杉本 昌志

アンダンテ加島で勤務させていただき、早いもので15年が経過しました。4月から支援部長に任命され、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。

当施設では短期入所（ショートステイ）まで含めると、本当にたくさんの方に利用していただいています。ニーズや障害特性も多様化しており、ここ数年では施設利用者の高齢化ということも注目されています。

支援スタッフとしては、介護技術を含めた様々なノウハウが求められますが、利用者の方が安心して楽しく生活できるよう、一丸となって業務に励んでいます。

私個人としても、これまで以上に幅広く専門性を高め、利用者の方のため、またアンダンテ加島や加島友愛会の発展のために精いっぱい努力していきます。



リュミエール加島

介護支援専門員(主任)

とくら しんじ
十倉 伸二

4月より介護支援専門員（主任）として勤務することになりました。また介護の技術指導など介護スタッフの指導的立場としても兼務を任されることになりました。

開設より5年目を迎えますが、今まで以上に気を引き締め、仕事にあたりたいと思います。

現在のリュミエール加島は、自立から要介護5の入居様が在籍しています。

手伝ってもらって当たり前と思っている方や、あまり世話になりたくないと思う方など、様々な考えをもった人生の先輩方です。

職員側で言えば、飲み食べする事が大好き、運動が大好き、寝ることが…と入居者様だけでなく、職員も様々な人が集まっています。

その為、介護者目線の介護とはこうあるべき、という一辺倒なケアの仕方ではなく、入居者目線での色々なケアの考え方を、職員のカラを出しつつ、介護職員に気付きを持ってもらえるように働きかけることが大切と日々感じています。

これからも入居者様と共に、よりよい関係づくりを築き、居心地のよいリュミエール加島と思っていただけるよう、頑張っていきます。

加寿苑

いろいろな活動してきます!



ボランティアの来訪では、五月十五日に一芸一座の皆さんが来られ、野点とノコギリ演奏を披露していただきました。

十二日にはアンダンテ加島の利用者が喫茶ボランティアに、二十二日にはお好み焼きの風月さんに来ていただきました。

今年の夏まつりは、八月十三日(土)に予定しています。「楽しい一日にしよう」と、職員が準備にとりかかっています。

(桑野)

例年より暑い日が早く訪れているようです。五月六月は、例年同様外出をしたりボランティアさんが来たりと、利用者の皆さんにとって刺激のある日々が続きました。外出では、五月二十九日淀川区民センターでおこなわれた「地域ふれあいコンサート」に特養音楽クラブの皆さん八名が出演。おなじみの『加寿苑の歌』など四曲を披露しました。



ち雨でしたが、幸い雨が降ることなくお花見を楽しむことができました。

椅子に座ってお茶やお団子を食べながらお花見を楽しんだり、公園内を散策されたりと皆様思い思いに過ごされていました。入居者様の中には童心に帰ってブランコを楽しむ方もおられました。

「桜がきれいやわ、お団子も美味しいし、来て良かった。来年もぜひ見にきたい」等の喜びの声とたくさん笑顔が見られました。

来年も皆さんの笑顔をたくさん見ることできるお花見レクを実施したいと思っています。

(河村)

リュミエール加島では、四月三日に施設近くの竹島公園でお花見レクを行いました。

施設外でのお花見レクは今回が二回目の開催となります。当日に体調不良で参加できない方もおられました。四十名近くの入居者様にご参加くださいました。当日の天気予報は曇りの

リュミエール加島のお花見



リュミエール加島

マイクロバスツアー in 神戸

5月中旬、「マイクロバスツアー」を行いました。今年で3回目を迎え利用者さんにも恒例の行事となりました。

今年の行き先は神戸海洋博物館です。4つのグループに分かれ総勢69名の参加になりました。春の清々しい陽気のなか楽しい一日を過ごすことができました。

マイクロバスに乗り込んで1時間のドライブ、普段の外出とはちがいバスの中での雰囲気もワクワクした様子が感じられます。神戸ポートタワーが現れると大きな歓声があがりました。バスから降りると神戸港の素晴らしい風景が一望でき、気分爽快！

神戸海洋博物館では迫力ある英国艦船「ロドニー号」にビックリ！カワサキワールドでは初代0系新幹線やヘリコプター、モーターサイクルなどが展示されているだけでなく、実際に触れる物や体験型もあり、みんな興奮気味。新幹線やヘリコプターの客室や運転室にも入ることができ、運転士や操縦士の気分を味わいました。「電車でGO！」や「Nゲージ」コーナーは大人気で順番待ち。「まだやりたいわ～」の声が上がる中、博物館を後にしました。

昼食はレストランにてハンバーグランチです。美味しそうなハンバーグが次々とテーブルに運ばれ、みなさん今日一番のテンションに「アツ、アツ」「最高！」「おいしいな～」と声があがっていました。

食後はサンシャインテラスで絶好のオーシャンビューを眺めながら、ジュースやアイス満喫。大きな海を背景にみんな笑顔で記念写真をパチリ！素敵な思い出になりました。心地よい疲れの中、バスに揺られてウトウトされる人も。

来年もみんなが楽しんでいただけるツアーを企画したいと今から意気込んでいます。
(真嶋)



四月二十一日に日帰り旅行で「奈良健康ランド」に行きました。

当日はあいにくの雨天でしたが、室内なので関係なく楽しむことができました。

車に乗り込みアンダンテ加島を出発!! 二時間もしない内に奈良県に入り、そこからはあつという間に奈良健康ランドに着。到着。

受付を済ませて館内に入り、すぐに入浴へ！普段からお風呂が好きで利用者の方々だったので、お風呂の種類が多いのを見て早く入りたいという気持ちもあつたのが、少しそわそわする

姿も見られました。入浴中はゆつくりとした時間を過ごすことができ、気持ちが良い様子で笑顔も多く見られました。そんな姿を見て、職員も「来てよかった」と思い、自然に笑みが出ました。

入浴の次は昼食の時間。「いつもより量も内容も豪華に」ということで個室を予約してお鍋を食べることに！お腹がいっぱいになり全部食べきれない利用者の方や、たくさん食べてもまだ食べる勢いの利用者の方もいました。満足げに食べる利用者の方の姿を見ることができよかったです。

名残惜しくも帰る時間となりました。「ゆつくりとした時間を過ごせたのではないかな」と思い、今後もそんな利用者の方々の姿を見ていきたいと改めて思いました。
(前原)

奈良健康ランドへ



アンダンテ加島

売り上げ 1億円超えに

ル・プラス



ル・プラスでは、現在31名の職員が利用契約と雇用契約を結んでクリーニングの仕事に取り組んでいます。

2015年度の作業売り上げは1億円を超えました。経費も大幅に増えましたが、支援スタッフの健闘もあり、非常に安定した運営を実施できました。

今年度は昨年度を上回る作業実績が見込まれており、近くに新たな倉庫を借りて作業スペースと事務スペースを拡充する予定です。

今年度も皆で協力してがんばっていききたいと思います。(市村)



清掃業務を担当

むつみ

4月よりかしま障害者センター本館の清掃業務を、むつみで行うことになりました。就労継続支援B型で、館内と外周の日常清掃を毎日行います。

トイレや廊下など、掃除機かけからほうき、モップや雑巾がけ、ゴミの分別などを担当。

ひとつひとつ場所によってやり方が違ったりするので、スタッフと一緒にいき、少しずつ習得している状況です。

生活介護ではセンターで使用する乗用車の洗車を行います。週2回、1台ずつではありますが、車内も掃除機をかけたりしています。センターは来客者も多いので、たくさんの方に気持ち良く過ごしていただけるよう、いつもきれいにしていきたいと思っています。



今年度も支援のあり方を常に見直し、楽しく充実した1年になるよう、スタッフ一同心を揃えてがんばっていきます。

(胡麻)

来年で開所20年

地域生活支援部



障害者自立支援法（現在は障害者総合支援法）の施行とともにグループホームとしての新事業が開始され、10年が経過しました。さらにその9年前に最初のホームである「加島苑」が開所され、来年でグループホーム開所20年を迎えることとなります。

はじめは数人だった入居者も現在では8ホーム36人という規模になりました。この間、法や制度の改正、ホーム建物の引っ越し

や入居者の入れ替わりなど、さまざまな出来事がありました。

10年20年という期間で振り返ると、入居者の方々のニーズも大きく変わった部分がある一方で、「障害のある人が地域社会で自分らしく過ごす」という基本的な部分は変わっていないことがわかります。

今年度は20年という節目に向けて、地域生活支援部として入居者の方々に何ができるかをテーマに日々の支援に取り組んでいこうと考えています。(蓬田)

新しい利用者を迎えて

Link

Linkでは、4月より新しい利用者の方々を迎えて、職員も程よい緊張感と新たな抱負を胸にスタートしています。

2015年度は13名の利用者が就職され、これまで125名の就労を実現することができました。

今年度は就労移行支援事業に16名、自立訓練事業に6名、就労継続支援事業B型に2名の利用者を迎えることができ、活気あふれる雰囲気の中、利用者の皆さんは作業中の報告を練習したり、いろんな作業を経験したり、個々の目標を確認しながらプログラムに参加しておられます。職員一同このスタートを毎年、襟を正す気持ちで過ごしてきました。

開設から10年になる今日、これまで培ってきた支援の軸がふれないうち、一人でも多くの利用者が力を発揮して働ける社会の実現をめざしていきたいと考えています。



かしま 障害者センター

新しいポジションで



むつみ

主任

つちや ゆうじ
土屋 裕二

むつみの生活介護で生活支援員として勤務しています。

私が大事にしていることは、利用者さんの気持ちに寄り添う、ことです。

特に思いを伝えることが難しい、苦手な方へは表情の変化や仕草等の反応をしっかりと受け止め、気持ちを共感し、一つでも理解し応えていきたいと思っています。その中で、利用者さんに嬉しいこと・感動したことなど、さまざまな経験ができるよう日々のスケジュールや外出活動等を提供していきたいと思っています。そして、私自身も共に喜んだり感動したりと、気持ちの共有が出来るよう一緒に過ごしたいと思っています。

4月より主任という立場になりましたが、経験不足や知識不足がありまだまだ未熟者です。皆さんから頼りにしてもらえるように、知識を広げるための勉強をし、日々の利用者さんとの関わりの中で勉強をしていきたいと思っています。そして、私が身につけたスキルをむつみに還元し、より充実した生活の場を提供していきたいと思っています。



地域生活支援部

主任

よしかわ ゆうた
吉川 雄太

私は2005年に入職し、主に就労系サービスの業務に従事していましたが、一昨年の8月に地域生活支援部に異動し、今年度より主任業務を担当させていただくことになりました。

私が支援を実践するうえで重要だと考えていることは、「相手を知ること」です。どれだけ経験を積み勉強をしても、知らない方を支援することはできません。われわれ支援者が相手を知ることが当然のことながら、地域の住民の方にも買い物、散歩や散髪など何気ない生活の場面を見てもらうことで入居者の方と「顔見知り」になっていってもらいたいと考えています。

顔見知りになることで、小さなことから災害時などの大きなことまで、入居者が困ったときに地域の方が自然と手助けしていただけるような関係づくりの橋渡しをしていきたいと思っています。

これからも地域に根差した支援が展開できるように職員一同と尽力し、入居者のみなさんと一緒に歩んでいきたいと思っています。

リュミエール加島

介護付有料老人ホーム

今年で5年目を迎えるリュミエール加島は、おかげ様で90%以上の入居率を達成いたしました。



入居者様それぞれのライフスタイルに合わせた介護援助や、毎年調査を行っている生活満足度調査を基本に余暇の充実にもつなげてきました。

そのようなリュミエール加島の様子を、毎月定期的にインターネット「リュミエール加島ブログ」で紹介しております。

年々アクセス数も増えており、入居をお考えの方には選択しやすい材料ではないかと思っています。「リュミエール加島ブログ」と検索していただければご覧になれるので、一度覗いて見て下さい。



今年



25周年を記念し、DVDの撮影、記念式典などを企画しています。

秋の完成に向けて、各施設での撮影も始まっています。

加島友愛会は
法人設立25周年を迎えました

熊本大地震の義援金について

四月十四日夜及び十六日未明に発生しました熊本県を震源とする大地震によって、熊本県及び大分県において甚大な被害が出ております。震災により亡くなられた方々の冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々及びそのご家族関係者の方々に對しまして、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りいたしております。

加島友愛会では、職員による第一次義援金として、大阪市社会事業施設協議会へ九万円、一般社団法人大阪知的障害者福祉協会へ九万円、社会福祉法人全国社会福祉協議会へ四万円、社会福祉法人熊本県社会福祉協議会へ七万円の義援金送金を行いました。

今後は第二次義援金の取り組みとして、施設利用の方・後援会・理事・評議員の皆さまに広く協力をお願いしているところですが、皆さまのご協力により被災地の支援に取り組みたいと考えております。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

❖ 加島友愛会後援会 ❖

後援会にご加入いただき、ありがとうございます。紙面をお借りしてあつく御礼申し上げます。会費の2015年度の納入状況をお知らせします。

後援会加入状況	団体	17団体	21口	210,000円	
	個人	166人	213口	641,000円	合計 851,000円
(昨年度比、46,000円の増額会費をいただきました)					

—参考(2014年度納入状況)—

団体	16団体	20口	200,000円	
個人	164人	201口	605,000円	合計 805,000円

引き続き、加島友愛会後援会をよろしく願いたします。